

「音の重なりを感じ取ろう」  
～題材構成に着目して～



令和6年5月2日 印旛地区音楽研究部学習指導法研修会

# 本日の流れ

- 1 本題材と目標  
学習指導要領との関わりについて**
- 2 題材構成について**
- 3 質問事項について**

# 1 「音の重なりを感じ取ろう」

旋律

音の重なり



歌唱



鑑賞



歌唱



# 1 小学校学習指導要領 表現（1）

## 歌唱ア

曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつこと

思いや意図を言葉や音楽で伝え合うことと、実際に歌ってみることを繰り返しながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫するように促すことが重要である。

小 指要 P 8 8

# 1 小学校学習指導要領 表現(1)

## 歌唱イ

**曲想と音楽の構造**や歌詞の内容との関わりについて理解すること

**曲想**：固有の雰囲気や表情、味わいのこと

**音楽の構造**：音楽を形づくっている**要素の**

**表れ方**や、音楽を特長付けている**要素と音**

**楽の仕組みとの関わり合い** 小指要 P 8 9

# 1 小学校学習指導要領 表現（1） 歌唱ウ（ウ）

思いや意図に合った表現をするために必要な各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能

自分の歌声を全体の中で調和させて歌うこと  
他の声部との関わりを意識して、歌声を合わせる喜びを味わうようにする 小指要P91

# 1 小学校学習指導要領 鑑賞

## (1) ア

- ➡ 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴くこと。 小指要 P 107

# 1 学習指導要領 鑑賞

## (1) イ

曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解すること。

小指要 P 108

# 1 小学校学習指導要領 共通事項

## (1) ア

- 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考えること。 小指要 P 1 1 0

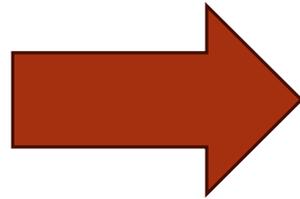
## 2 「題材構成」

- 1曲ずつ指導する。

「小さな約束」

「いつでもあの海は」

「アイネ クライネ  
ナハト ムジーク」



**「旋律」「音の重なり」**  
主な音楽を形づくっている要素を**共通に選択**する。

◎ 題材全体の中で**評価**

◎ 教材単位ではなく、  
さまざまな**学習が関連**  
**し合っている**

## 2 複数の領域・分野の関連を図った題材

生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素を**共通に選択**し、評価規準に位置付けている。

中学校 「指導と評価の一体化」のための  
学習評価に関する参考資料 P75～82

## 2

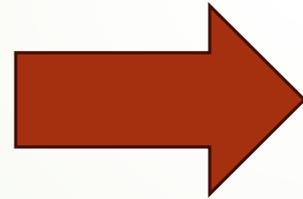
# 題材構成

- 1曲ずつ指導する。

「小さな約束」

「いつでもあの海は」

「アイネ クライネ  
ナハト ムジーク」



「旋律」「音の重なり」  
主な音楽を形づくっている要素を**共通に選択**する。

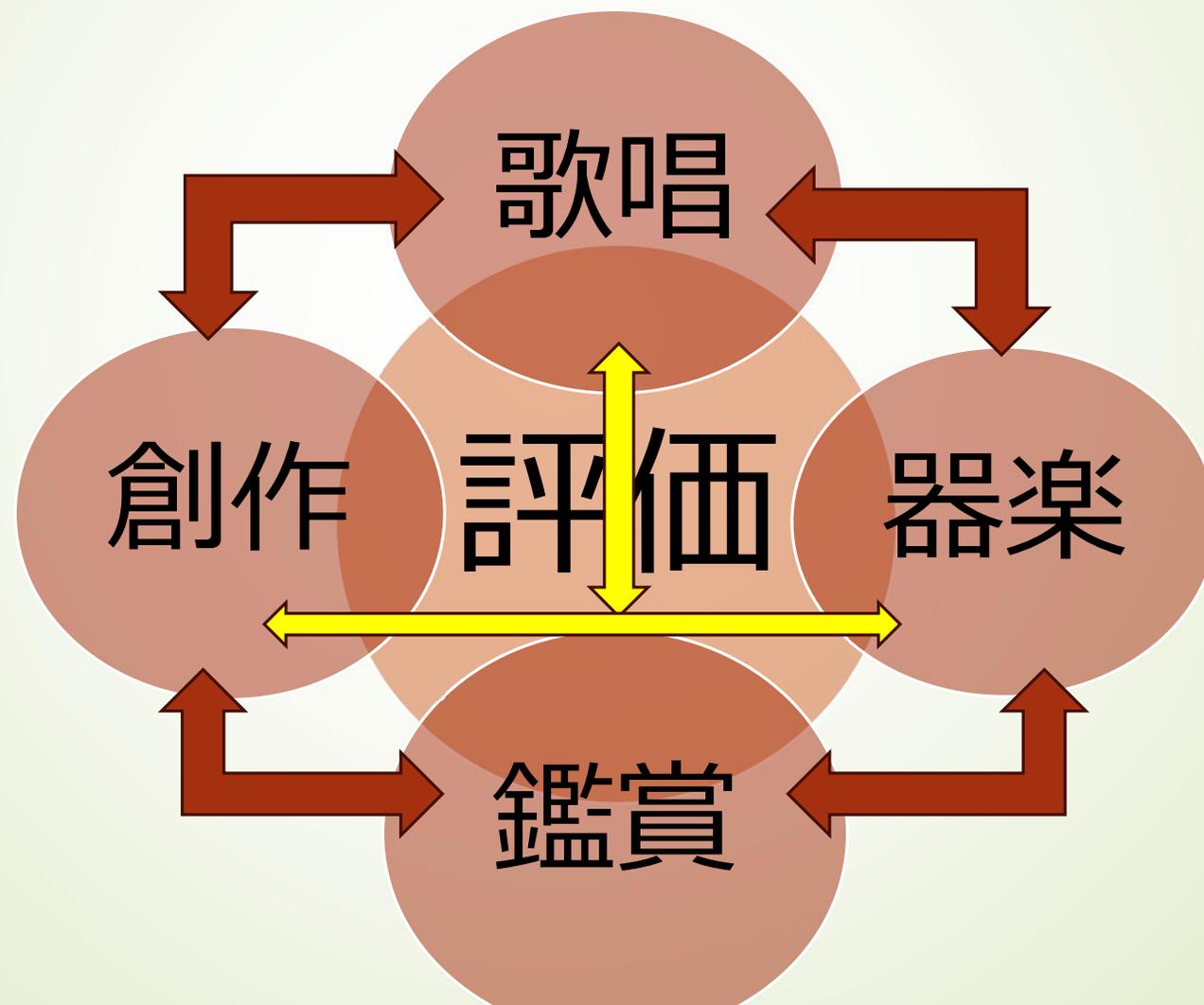
◎ 題材全体の中で**評価**

◎ 教材単位ではなく、  
さまざまな**学習が関連**  
**し合っている**

## 2 学年を超えて学びをつなげる

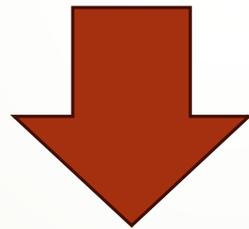
- ➡ ○ **題材と題材との関連**も重要
- ➡ ○ **他学年の内容**を知る
- ➡ ○ **ふり返りのページ**

### 3 評価について（重点化）



子どもたちに何を身につけてほしいか

➔ **音楽に関する汎用的な力を育成**



**学習効果・学習評価**

## 3 具体的な評価について

➡ ○身体表現、発言、言葉や絵など

**総合的に判断する**

➡ 目的、目標に沿った体の動きか？

➡ なぜ？ どうしてそう感じたのか？

➡ 自分の気持ちと比較してみる

### 3 見取りのポイント

- ▶ **子どもが見通しをもてるよう、どの音楽を形づくっている要素をよりどころとしながら思考、判断していけばよいかを想定しておく**

小評価P59～・83～

### 3 見取りのポイント

➔ 「生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力」の育成

# 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（イメージ）

## 主体的な学び

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる

## 対話的な学び

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める

## 深い学び

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう

## 主体的・対話的で深い学び

学習指導要領 総則 第3 教育課程の実施と学習評価

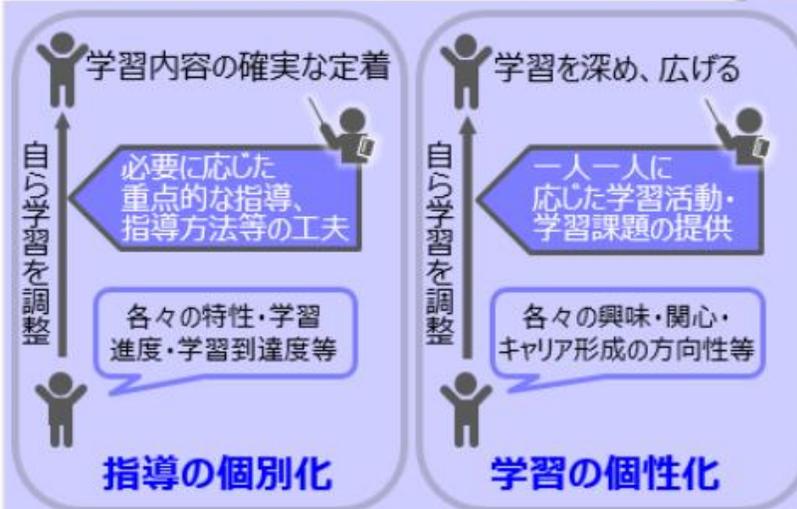
学習指導要領 総則 第4 児童(生徒)の発達の支援

一体的に  
充実

授業外の  
学習の改善

授業改善

資質・能力の育成



## 個別最適な学び (教師視点では「個に応じた指導」)

修得主義 ・個々人の学習状況に応じて学習内容を提供 ・一定の期間における個々人の学習の状況・成果を重視  
の考え方を生かす

異なる考え方が組み合わせり  
よりよい学びを生み出す



## 協働的な学び

クラスメイト



異学年・他校の子供



地域の人



専門家



等

これからの学校には……一人一人の児童(生徒)が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。

平成29,30年改訂  
学習指導要領 前文

・集団に対して共通に教育を行う ・一定の期間の中で個々人の多様な成長を包含  
の考え方を生かす

# 参考資料

- ・ 小学校学習指導要領解説
- ・ 中学校学習指導要領解説
- ・ 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料
- ・ 令和6年度小学校用教科書 内容解説資料  
教育芸術社
- ・ 令和6年度中学校用教科書 内容解説資料  
教育芸術社
- ・ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（イメージ） 文科省

御清聴ありがとうございました

